

文芸

投稿は投稿者の住所、電話番号を記入し、役場広報係まで。締切は毎月15日(必着)です。

短歌

末武 有二 選

ほつぺたと顎のラインが一直線「クレヨンしんちゃん」そのままの孫 木山 本田 龍子
 炎天下熱戦続く甲子園試合終えれば笑顔で握手 寺迫 西坂ヨシ子
 玉の汗拭いもやらで草払う友は優しく頼もしくあり 惣領 島田 廣子
 わが上を精霊さんの湧くごとし黄羽輝き今日父の忌 安永 守住 孝子
 浴衣着て喜々と出かくる娘なり若き日の吾に姿重ぬる 広崎 松原まゆみ
 秋日和無事に過ごせし幸せを沈む夕日に手を合わせおり 小谷 今吉マキ子
 起き抜けに猫と一緒に窓を開け夏虫合唱しはし聞き入る 古閑 井上てつ子
 ひたすらに利休の教え説きし師の旅立ちの顔清く麗し 安永 川野 光子
 この夏は酷暑なれども朝夕に頬なでる風秋の気配す 安永 福田 圭子
 コスモスは風雨にうたれ倒れても花が三輪上を向いてる 宮園 島 みつき
 震災に消えし御霊を悼むごと遠く近くにひぐらしが鳴く 惣領 鎌田 正吾

お願い

漢字にはふりがなを記入してください。一枚のハガキに、部門(短歌、俳句、川柳)が異なる作品は併記しないでください。広報投稿作品の、他への重複投稿はご遠慮ください。

俳句

河野 全平 選

秋風や親しき友はあの空へ 平田 大山ちず子
 一望の稲田のかなた金峰山 赤井 西山恵美子
 てんぐさ取り波静かにて海女水漬く 古閑 今村 恒心
 あぜ道に色鮮やかな彼岸花 惣領 阪口由美子
 高齡と同時進行秋の風 広崎 瀬戸サイ子
 青じその匂い懐かし母しのぶ 小谷 今吉マキ子
 散歩道犬が引つ張る秋の空 馬水 西田 正巳
 秋風や友は煙りて天国へ 木山 山口サツキ
 碑の丘を訪ねともなや秋の雨 田原 辻ヶ峰子
 一句鑑賞 鳥も飛ばず二百十日の鳴子かな 夏目 漱石

川柳

布田川左門 選

『お題』 中秋名月・秋風
 名月へススキだんごに亡母の顔 広崎まゆみ
 中秋名月詩心動いて駄句一つ 辻の吉郎
 名月が病んだ地球に気を使い 惣領正吾

※参考例
 秋風や拉致人早く帰らせて

『お題』

自由詠
 四島は取られお墓は泣いている 色丹正巳
 眠られずモノの「睡蓮」眺めをり 江津美佐子
 にこやかに会釈返して誰だっけ? テクノの老女

※参考例

豆腐屋の夫婦ソレからすぐに起き

川柳のお題 「ガンリン・キナ臭い」

益城の文化財 町文化財保護委員会



益城町

常楽寺境内 町重要文化財(史跡)に

暦の上では秋になり、行楽シーズンです。秋といえば京都の紅葉が思い浮かびます。京都東山にあり、「御寺」とも呼ばれ皇室の菩提寺としてあつい信仰を集めてきた泉涌寺と、飯田山常楽寺に深いご縁があることはご存じでしょうか?

常楽寺は、飯田山の8合目に位置する天台宗の寺です。境内には、山門・本堂・山王宮・鐘楼が立地し、境内を境する石垣には、「乱れ積石」がみられます。頂上付近に立地する白山神社は、寺域の中に含まれ、「奥の院」としての位置づけが可能です。信仰の対象となる湧水地に造営されていることは意味深長なことです。

本堂の本尊は十一面千手観音の立像で、左右に不動明王と毘沙門天が祭られています。これは、三尊形式といわれ、10世紀末ごろに始まるとされることから、常楽寺は、11〜12世紀の平安時代の終わりごろには寺院として整備されたようです。